

II-303 人工海水浴場の利用者意識

関西大学工学部 正 員 ○島 田 広 昭
 関西大学大学院 学生員 光 田 佳 也
 関西大学工学部 正 員 井 上 雅 夫

1. ま え が き

近年、わが国における海洋性レクリエーションに対する需要の増大は著しく、特に、大都市近郊では海水浴場として利用できる人工海浜の造成への要請が高い。したがって、人工海浜事業は海岸事業の主要な存在になりつつあると云われており、全国各地で人工海浜が計画あるいは建設されている。しかしながら、現在、海水浴場として利用されている人工海浜は、それぞれの海岸によって画一的な基準で造成されているため、利用者の満足度が必ずしも高いとはいえない場合がある。そこで本研究では、海浜利用者の属性や利用目的などの違いによって生じる、海水浴場としての望ましい条件の詳細を明確にしようとするものである。

2. 調査および解析方法

大阪府が1982年7月に泉南海岸に開設した完全な人工海浜である淡輪海水浴場を調査対象とし、1982年から1986年までの5年、いずれも7月～8月にかけてそれぞれ3～6日間ずつ、アンケートによる利用者の意識調査と海水浴場の全景を写真撮影することによって利用形態の調査を実施した。アンケート調査の結果は各項目ごとにコード化した数字をパーソナル・コンピュータに入力して、利用者の属性や海水浴場に来た目的ごとに各条件に対する意識を集計した。なお、調査年度ごとにアンケート項目や選択肢が若干異なっているため、ここでは1982年、1985年および1986年の3年間についてだけ考察することにした。

3. 結果および考察

表-1は、年齢・性別ごとに集計した砂浜の広さに対する利用者意識を示したものである。これによると、各年度の平均したもののについては、1982年に「狭い」と感じている人の割合は1985年や1986年のものに比べて多い。これは、1982年は汀線延長が約400mであったが、1985年には約600mに延長されたためと思われる。さらに詳細にみると、各年とも年齢による意識の違いのほうが性別によるものより大きくなっており、1982年では男性と女性のいずれも10代と20代に「広い」と感じている人の割合が30代以上に比べて少なく、逆に「狭い」と感じている人の割合が30代以上の人に比べて多くなっている。1985年には砂浜が拡張されたこともあり、「広い」と感じている人の割合には年齢や性別による差はほとんどみられないが、「狭い」と感じている人の割合は1982年と同様の傾向を示している。このことは、1986年の女性についても同様である。また、表示はしていないが、年齢や性別ごとに集計した砂浜の混み具合に対する利用者意識については、いずれの年

表-1 砂浜の広さに対する利用者意識

		1982年				
		広 い (%)	やや広い (%)	適 当 (%)	やや狭い (%)	狭 い (%)
男	10代	8.0	9.3	32.0	26.7	24.0
	20代	4.4	7.3	38.1	31.9	17.4
	30代	14.1	11.8	43.5	18.8	11.8
	40代～	11.3	10.0	42.5	22.5	13.8
女	10代	6.3	11.6	32.6	21.1	28.4
	20代	7.8	5.6	42.2	24.4	20.0
	30代	15.8	5.3	44.7	23.7	10.5
	40代～	14.0	14.0	37.2	14.0	20.9
平 均 (%)		10.0	9.1	38.3	23.2	18.4

		1985年				
		広 い (%)	やや広い (%)	適 当 (%)	やや狭い (%)	狭 い (%)
男	10代	18.1	12.5	40.3	8.3	20.8
	20代	18.8	15.2	46.4	8.9	10.7
	30代	18.5	9.3	48.2	13.0	11.1
	40代～	16.4	8.2	62.3	6.6	6.6
女	10代	15.6	13.5	44.0	12.1	14.9
	20代	14.8	13.2	40.5	17.4	14.1
	30代	21.7	15.9	52.2	6.8	4.4
	40代～	17.7	23.5	47.1	5.8	5.8
平 均 (%)		17.4	13.0	46.5	11.0	12.1

		1986年				
		広 い (%)	やや広い (%)	適 当 (%)	やや狭い (%)	狭 い (%)
男	10代	23.8	10.7	44.1	10.7	10.7
	20代	17.9	10.7	47.6	11.9	11.9
	30代	12.1	2.4	62.7	14.5	8.4
	40代～	15.8	3.5	57.9	10.5	12.3
女	10代	8.3	2.5	58.3	10.8	20.0
	20代	9.6	6.8	54.1	16.2	13.5
	30代	19.6	11.8	60.8	3.9	3.9
	40代～	16.7	5.6	55.6	11.1	11.1
平 均 (%)		14.7	6.5	54.8	11.6	12.4

も「混んでいる」・「やや混んでいる」と感じている人は男性と女性のいずれも10代と20代に多く、30代以上の人に少ない。しかし、これについても砂浜の広さと同様に性別による差はあまりないようである。このように、海水浴場の広さや混み具合については、性別よりも年齢による違いのほうが大きいことがわかる。この原因としては、海水浴場に来る目的や理由が年齢によって違うことが考えられる。そこで、砂浜の混み具合に対して目的や理由ごとに集計したものが表-2である。なお、1982年のものは目的と理由を同じ項目で質問したものである。これによると、いずれの目的でも「すいている」と感じている人よりも「混んでいる」と感じている人のほうが多くなっている。また、理由別のものは、1985年と1986年で若干の差がみられ、1985年ではいずれも「すいている」と感じている人よりも「混んでいる」と感じている人のほうが多いが、1986年の家庭サービスが理由の人は逆に「混んでいる」と感じている人のほうが少ない。さらに、「すいている」と感じている人と「混んでいる」と感じている人との差は、目的別では日光浴、理由別では息抜きと遊びがそれぞれ大きく、逆に浜遊びや家庭サービスを目的や理由にしている人の差は少ない。

表-2(a) 砂浜の混み具合に対する利用者意識（目的別）

	すいている (%)	ややすいている (%)	普通 (%)	やや混んでいる (%)	混んでいる (%)
水 泳	12.5	10.7	42.0	18.8	16.1
日光浴	12.3	11.7	43.0	11.2	21.8
浜遊び	9.9	18.3	45.1	14.1	12.7
家庭サービス	16.9	19.7	44.9	11.2	7.3
息抜き	13.0	13.0	50.0	8.7	15.2
その他	11.1	3.7	48.2	11.1	25.9
平均 (%)	13.4	14.4	44.4	12.7	15.2

	すいている (%)	ややすいている (%)	普通 (%)	やや混んでいる (%)	混んでいる (%)
水 泳	11.7	10.2	46.4	13.8	17.9
日光浴	9.6	13.1	37.6	15.6	24.2
浜遊び	11.9	11.3	47.7	14.6	14.6
その他	10.0	5.0	50.0	10.0	25.0
平均 (%)	10.7	11.4	42.9	14.6	20.4

	すいている (%)	ややすいている (%)	普通 (%)	やや混んでいる (%)	混んでいる (%)
水 泳	9.9	8.3	43.8	21.5	16.5
日光浴	9.3	8.5	38.5	19.4	24.3
浜遊び	12.8	8.8	52.0	9.6	16.8
その他	10.3	7.7	47.4	15.4	19.2
平均 (%)	10.3	8.4	43.8	17.2	20.3

表-2(b) 砂浜の混み具合に対する利用者意識（理由別）

	すいている (%)	ややすいている (%)	普通 (%)	やや混んでいる (%)	混んでいる (%)
家庭サービス	10.0	11.4	49.5	13.8	15.3
息抜き	12.0	14.8	33.3	13.0	26.9
遊 び	11.4	10.9	41.1	15.7	20.9
その他	3.0	6.1	51.5	12.1	27.3
平均 (%)	10.7	11.4	42.9	14.6	20.4

	すいている (%)	ややすいている (%)	普通 (%)	やや混んでいる (%)	混んでいる (%)
家庭サービス	12.8	8.1	56.8	10.8	11.5
息抜き	11.4	9.1	36.4	20.5	22.7
遊 び	8.8	8.8	37.7	19.9	24.9
その他	10.5	5.3	57.9	13.2	13.2
平均 (%)	10.3	8.4	43.8	17.2	20.3

表-3 目的や理由ごとの年齢・性別の分布（1986年）

(a) 目的別

	水 泳 (%)	日光浴 (%)	浜遊び (%)	その他 (%)
男	10代 14.9	18.2	6.4	14.7
	20代 10.7	21.9	6.4	14.7
	30代 21.5	4.1	25.6	14.6
	40代~ 18.2	2.4	14.4	10.0
女	10代 12.4	33.2	8.8	21.0
	20代 7.4	17.8	12.8	13.0
	30代 12.4	1.2	17.6	8.9
	40代~ 2.5	1.2	0.0	3.2
百分率 (%)	21.2	43.3	21.9	13.7

(b) 理由別

	家庭サービス (%)	息抜き (%)	遊 び (%)	その他 (%)
男	10代 0.0	14.8	21.9	15.8
	20代 5.4	22.6	17.5	10.5
	30代 34.5	14.8	4.4	15.8
	40代~ 27.7	6.8	1.7	13.2
女	10代 0.0	14.8	33.9	15.8
	20代 4.7	20.5	15.2	10.5
	30代 23.0	3.4	3.4	10.5
	40代~ 4.7	2.3	2.0	7.9
百分率 (%)	25.9	15.4	52.0	6.7

この傾向は、同じ項目で質問した1982年のものについても同様にみられる。これらのことは、表-3に示した1986年の海水浴場に来た目的や理由ごとの年齢・性別の分布からもわかるように、男性と女性のいずれも10代と20代の若年層

では日光浴を目的に来ている人が多く、30代では家庭サービスを理由に来ている人が多いため、前述したように性別よりも年齢の影響のほうが顕著に現れるものと思われる。その他の海浜条件である底質や海浜勾配などに対するものについては、講演時に述べたい。